



広島市指定重要有形文化財
旧広島地方気象台 広島市江波山気象館

HIROSHIMA CITY EBAYAMA MUSEUM OF METEOROLOGY

旧広島地方気象台は、昭和9年に広島県立広島測候所として建築され、昭和14年に国営移管、昭和62年に中区上八丁堀の合同庁舎に移転しました。

昭和20年には原子爆弾により被災しましたが、職員による気象観測は1日も休むことなく続けられました。同じ年の9月には枕崎台風が広島を襲い、このときの様子は柳田邦男の小説「空白の天気図」でも詳しく紹介されています。

建物は鉄筋コンクリート造りで、戦前の建物の特徴と新しいモダンなデザインをあわせもつ、建築技術的、デザイン的にも非常に優れた建物であり、平成12年7月に広島市の重要有形文化財に指定されました。

戦前の鉄筋コンクリートの建物は戦争のため、昭和14年ごろを境にその建築が行われなくなります。このことから、旧広島地方気象台は戦前の鉄筋コンクリートの建物としては最末期のものといえます。

利用案内

- 開館時間
午前9時～午後5時まで(入館は午後4時30分まで)
- 休館日
毎週月曜日(祝日・休日の場合を除く)、祝日の翌日、年末年始
※休館日は変更になる場合がありますので、詳細についてはお問合せください。
- 入館料
大人:100円(80円) シニア、高校生:50円(40円) 中学生以下:無料
※()内は30人以上の団体料金です。
※高校生とは、高校生または18歳に達する日以降の最初の3月31日までの人です。
※シニア料金は65歳以上の方が対象です。(年齢確認のできる公的証明書のご提示が必要です。)
※障害者手帳等の提示ご本人と介添者の方は無料です。
※その他、入館料の減免については、直接お問い合わせいただくか気象館ホームページをご覧ください。
- 無料開放日
5月5日～5月11日まで(休館日を除く)※高校生対象
土曜日(夏休み、冬休み、春休みおよび祝日を除く)※高校生対象
気象記念日(6月1日)に最も近い日曜日および文化の日(11月3日)
- アクセス
バス:広電バス舟入本町經由
江波方面行き
江波栄町下車 徒歩約500m
電車:広島鉄江波行き
江波(終点)下車
徒歩約1km



→ 矢印はバス路線(舟入本町經由)
- - - 矢印はバス路線(かきうち通り經由)
... 点線は徒歩コース(階段あり)

旧広島地方気象台 [広島市指定重要有形文化財]

広島市江波山気象館

HIROSHIMA CITY EBAYAMA MUSEUM OF METEOROLOGY

見学のご案内



広島市江波山気象館

HIROSHIMA CITY EBAYAMA MUSEUM OF METEOROLOGY

〒730-0835 広島市中区江波南一丁目40番1号
☎(082)231-0177 FAX(082)234-1013
URL <http://www.ebayama.jp>



公益財団法人広島市文化財団